

# エレベーター用クーラー EDC-052

## 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

この製品は、海外ではご使用になれません。  
USE ONLY IN JAPAN.

**!** **注意** ※下記内容は必ず守ってください。

### 据付工事が必要です。

- ◆電気工事は、必ず電気工事士の有資格者、認定を受けた電気工事店に依頼し、電気設備基準・内線規定に従った設置をしてください。
- ◆接続電源はエレベータ用クーラー専用でご使用ください。同じ電源に複数の機器を接続すると電圧降下を起こし、エレベーター用クーラーの故障に繋がります。
- ◆DC電源は付属されておりません。
- ◆電源コードは長さに応じて機器の消費電力に十分対応できる太さのコードをご使用ください。  
(必要以上に長いコードや径の細いコードは電気の容量不足を起こし、機器の故障原因になります。)

### 目次

ご使用になる前に	1
電源のご注意	1
フィルター着脱時のご注意	1
安全上のご注意	2
搬送上のご注意	2
施工上のご注意	2
使用上のご注意	3
メンテナンス上のご注意	3
各部名称	4
仕様	5
付属品	5
搬送時のご注意	5
ハンドルの取り付け方法	6
本体の設置	7
本体据え付け時のご注意	7
リモコンの接続方法	8
リモコンの設置方法	8
室内温度センサーの接続方法	8
電源の接続方法	9
PCの接続方法	9
試運転について	10
リモコン操作方法	11
メンテナンス	12
故障の原因と対策	13
廃棄方法	13
エラーコード	14



## ご使用になる前に

本機は、周囲の温度が20℃以上45℃以下の環境でお使いください。19℃以下でご使用になられると、冷風が結露し、本体破損の原因となります。



## 電源のご注意

電圧降下による機器の故障を防ぐため、以下の内容に注意してください。

電源は、単独のDC電源からお取りください。本機を使用される前に同一の電源からそれらが接続されていないかを調べて電圧降下が起こらない状態で使用してください。







## フィルター着脱時のご注意

フィルターの掃除はこまめに行ってください。フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因となります。

## 【安全上のご注意】

- ご使用になる前に安全上の注意をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつく重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

### ○表示と意味について

表 示		表示の意味
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
図記号の例		図記号の意味
	分解禁止	⊘の記号は、禁止の行為を示します。(してはいけないこと) 具体的な禁止内容は、文章や絵で示します。左図の場合は、「分解禁止」を示しています。
	プラグを 抜く	●の記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。具体的な強制内容は、文章や絵で示します。左図の場合は、「差込プラグをコンセントから抜く」ことを示しています。










## 【搬送上のご注意】

### ○警告

	搬送は安全に作業できる人数で行ってください。		傾斜した場所や不安定な場所に保管しないでください。
	熱交換器には触れないでください。		搬送を行う際には作業用手袋等を使用し、内部金具部や加工部品端面に直接手が触れないように十分注意して作業を行ってください。
	内部破損の恐れがありますので、搬送時に30°以上倒して搬送しないでください。		ネジのゆるみ等の恐れがありますので、搬送時に振動を与えないでください。

















## 【施工上のご注意】

### ○警告

	設置は安全に作業できる人数で行ってください。		傾斜した場所や不安定な場所に設置しないでください。
	設置・配線を行う際には作業用手袋等を使用し、内部金具部や加工部品端面に直接手が触れないように十分注意して作業を行ってください。		本体の吸込口と吹出口は塞がないように設置してください。障害物がある場合や排気された空気が吸込口から吸われてしまう設置(ショートサーキット)は、冷房能力の低下や運転騒音が狭くなる原因になります。
	定格機外静圧以上の静圧を掛けた場合、風量低下や、異常発報(結氷防止警報、ドレン蒸散不良)の可能性があります。		本体は水平に設置してください。水平でない場合、ドレン皿から水が漏れる可能性があります。
	アースは確実に接続してください。		電源線の一次側には漏電ブレーカーを設置してください。
	本体と設置架台の間には防振をとってください。		







## 【使用上のご注意】

### ○警告

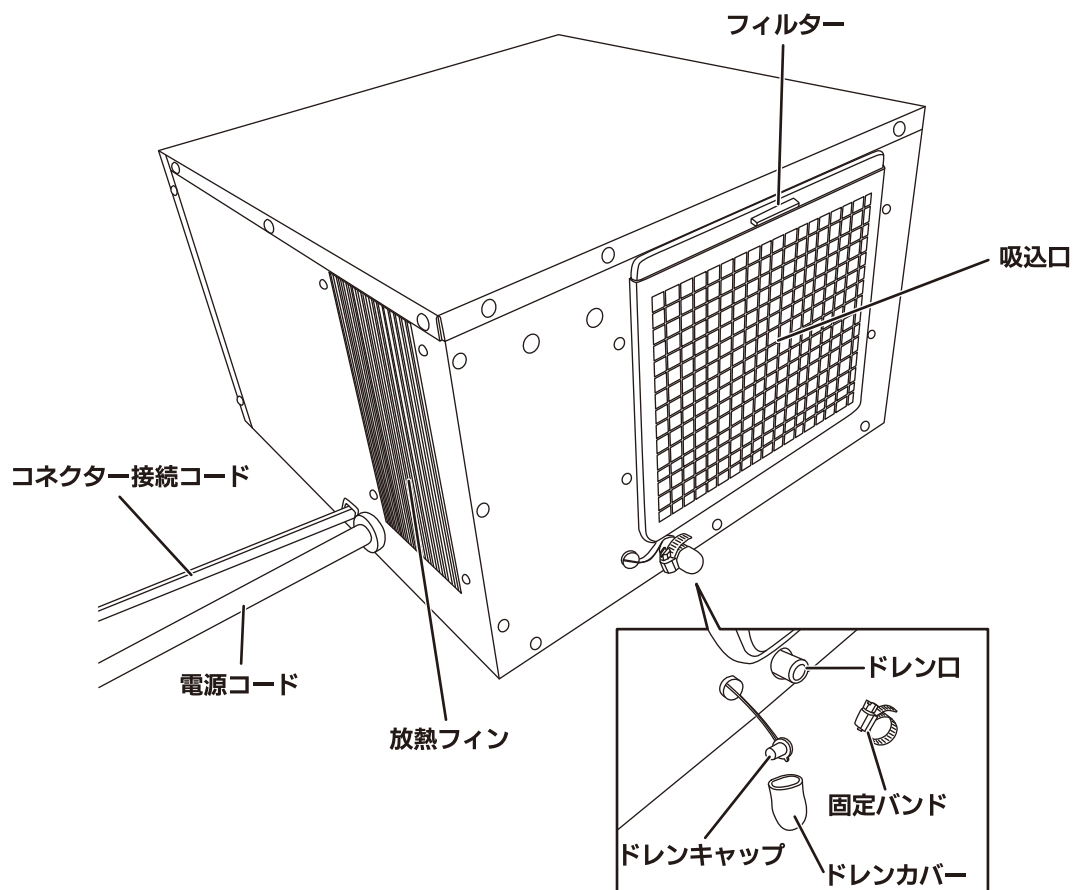
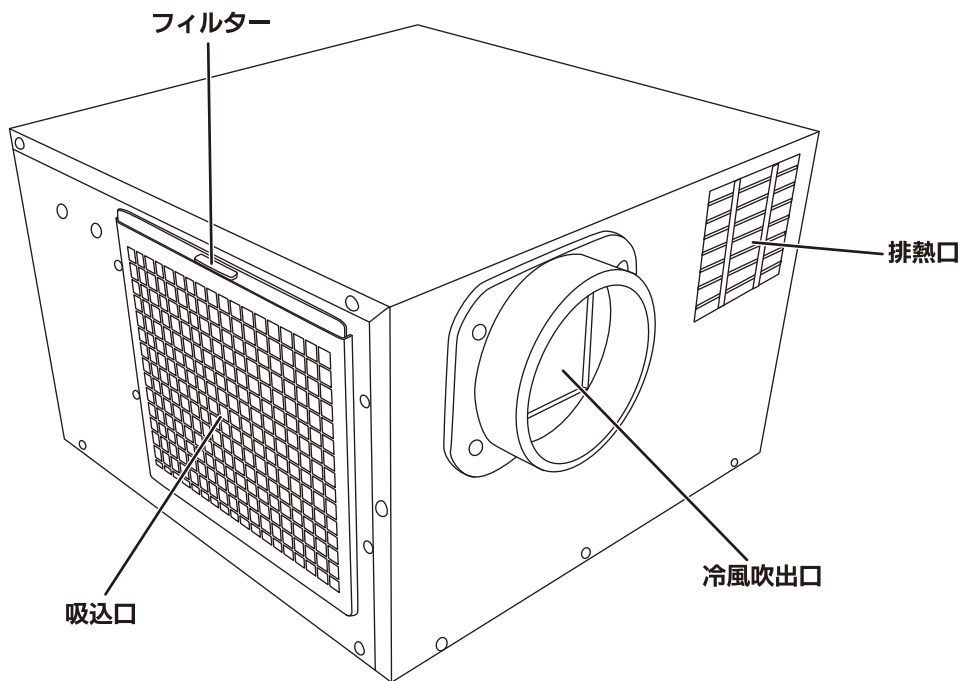
	絶対に改造はしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。		電源は、直流（DC）48Vを使用してください。直流（DC）48V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
	修理技術者以外の方は、分解・修理をしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。修理はお買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。		灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、塗料等や、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くでは使用しないでください。爆発、火災の原因になります。
	沿岸地域（塩害）・温泉地域（硫化ガス等の腐食性ガス）等の場所では使用しないでください。		導電性粉塵（カーボン・金属等）のあるところへは設置しないでください。
	食品や動植物の冷却等の特殊な用途には使用しないでください。		屋外や本体に水のかかる場所、または直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
	電気部品は水や洗剤をかけたたり、吹き付けたりしないでください。漏電により、火災・感電の恐れがあります。		冷房運転可能範囲以外の運転条件で使用しないでください。故障の原因になります。
	異常時（焦げ臭い等）は、運転を停止して電源を切り、サポートセンターにご相談ください。異常のまま運転を続けると、故障・火災・感電の恐れがあります。		漏電ブレーカーが作動した場合は原因を十分に取り除いてから電源を入れてください。
	漏電ブレーカーでの運転・停止は行わないでください。		保護装置の作動により異常停止した場合は、原因を十分に取り除いてから再度電源を入れてください。
	長期間ご使用にならない場合は、電源を切ってください。		本体の耐荷重は100kgです。100kg以上の荷重を掛けないでください。

## 【メンテナンス上のご注意】

### ○警告

	冷凍サイクル内に空気等を混入させないでください。混入した場合、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。		フィルターは1回/3カ月清掃を行ってください。
	熱交換器は、1回/年以上清掃を行ってください。		ドレン皿の洗浄頻度は建物立地条件により異なりますが、1回/年以上行ってください。
	清掃に水を使用する場合、感電や故障の恐れがあるので、本体や電気配線等に水が掛からないようにしてください。		熱交換器に素手で触れないでください。

# 【各部名称】

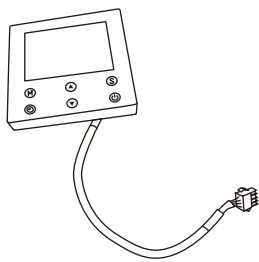


## 【仕様】

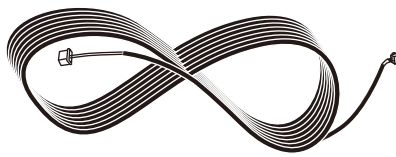
電 源	源	直流 (DC) 48V ±5%	
強 / 弱	強 / 弱	強	弱
冷 房 能 力		1.8kW	1.6kW
定 格 電 流		12.5A	11.8A
消 費 電 力		600W	570W
圧 縮 機		全閉型ロータリー (定格出力 : 0.52kW)	
騒 音 値		約58dB	
冷 媒		HFC R134a (GWP値 : 1430)	
冷 媒 封 入 量		390g	
電 源 コ ー ド 長 さ		約3m	
外 形 寸 法		幅405mm×奥行450mm×高さ260mm	
質 量		約24.8kg	
使 用 環 境 範 囲		温度 : 20°C~45°C 湿度 : 0~95%	

※製品の外觀・仕様等は改良等により予告なく変更される場合があります。  
 ※冷房能力及び、電気特性は室温35°C相対湿度60%の条件で運転したときの値です。

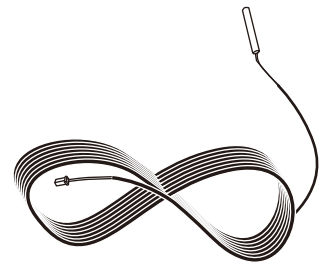
## 【付属部品】



リモコン ×1



リモコン用延長コード ×1

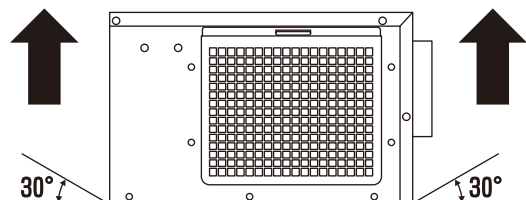
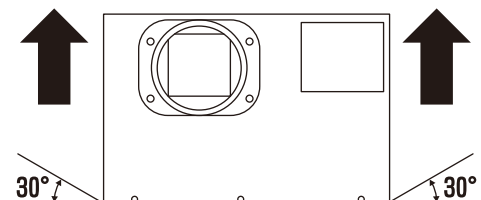
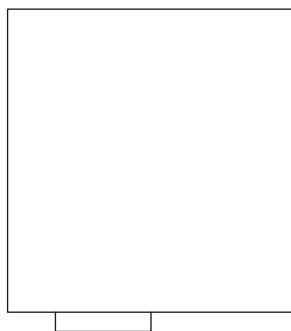


室内温度センサー ×1

## 【搬送時のご注意】

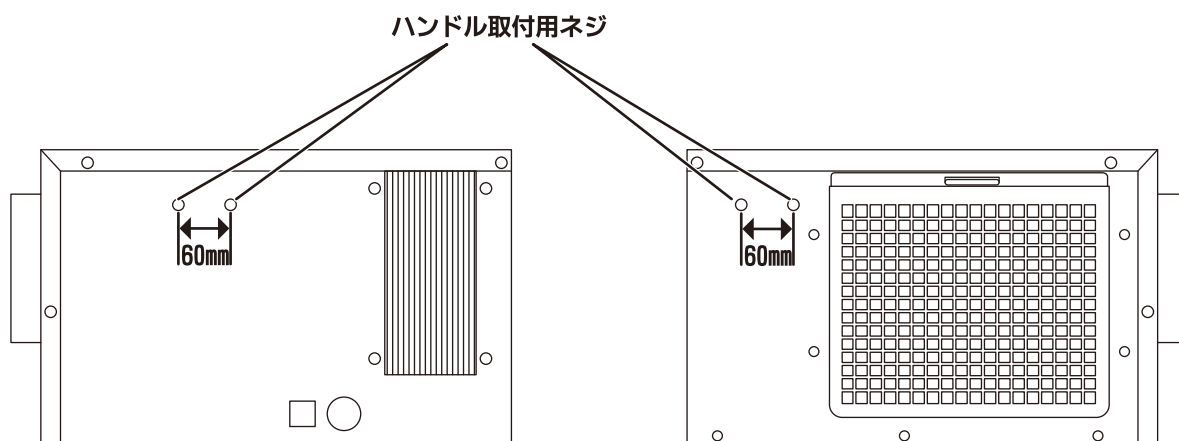
### ⚠ 注意

- ・搬送は安全に作業できる人数で行ってください。
- ・図の許容角度を超えて持ち上げないでください。本体故障の原因になります。

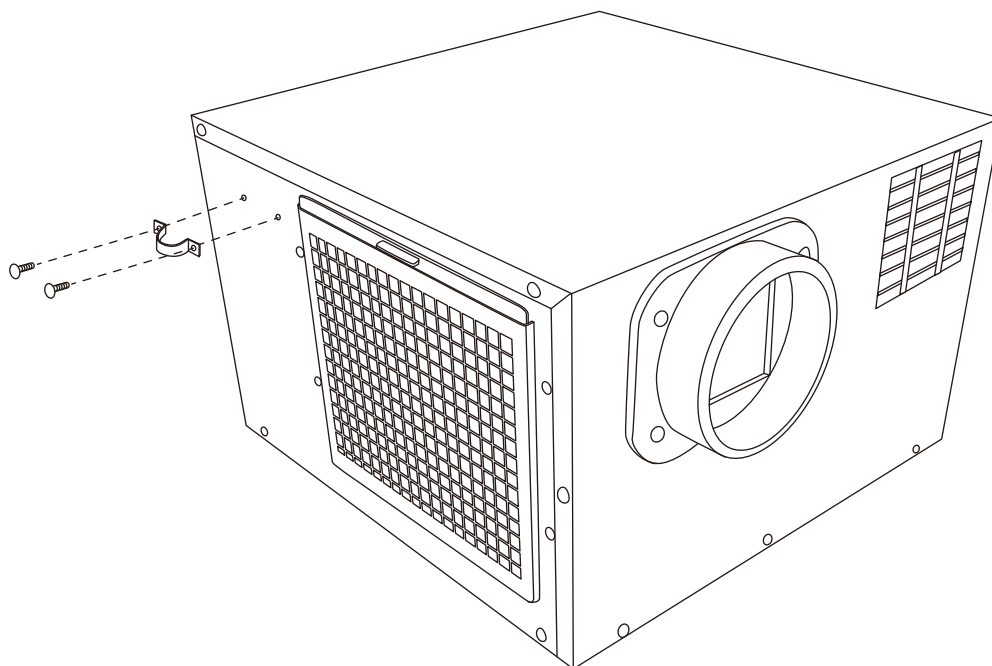


## 【ハンドルの取り付け方法】

①本体両側面にあるハンドル取付用ネジを取り外します（2×2箇所）



②市販のハンドルを用意し、取り付けて持ち運んでください。  
※設置後、ハンドルは取り外してください。

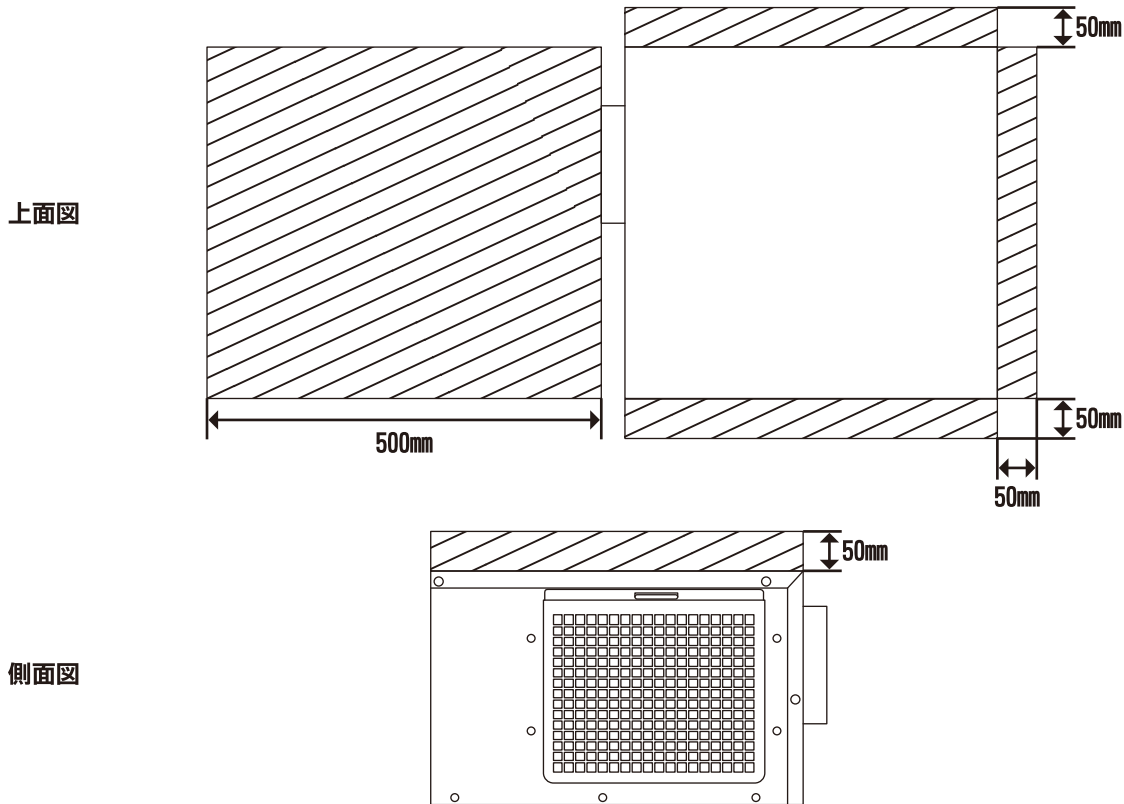


## 【本体の設置】

### ⚠ 注意

- ・設置は安全に作業できる人数で行ってください。
- ・メンテナンス空間に機器や障害物が発生する場合は、メンテナンス実施時に取り外しが可能な状況にしてください。

●斜線部必須空間には機器や障害物等を設置しないでください。製品の能力低下や、周辺機器の故障等に繋がります。



上面図

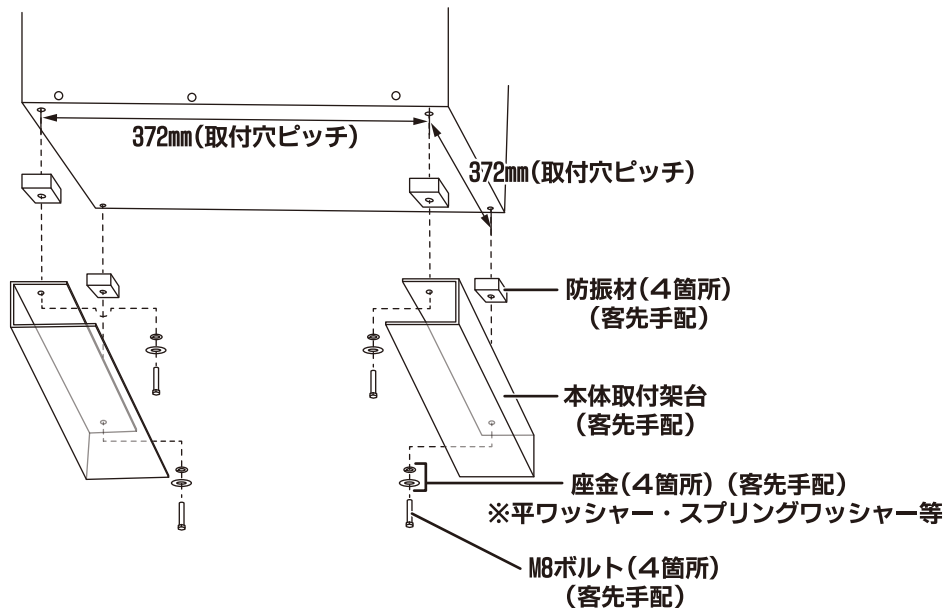
側面図

## 【本体据え付け時のご注意】

### ⚠ 注意

- ・ユニットは水平に設置してください（1/100勾配以下）。傾いて設置した場合は、漏水、落下、異常振動、能力不足などによる事故、劣化が発生します。
- ・ユニット架台の間に防振材を設置してください。

●下図のように、取付ボルト（M8）等を用いて本体底面4箇所にて本体をエレベーターに固定してください。



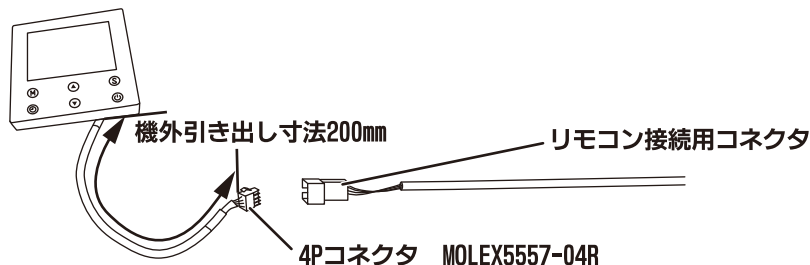


## 【リモコンの接続方法】

### ⚠ 注意

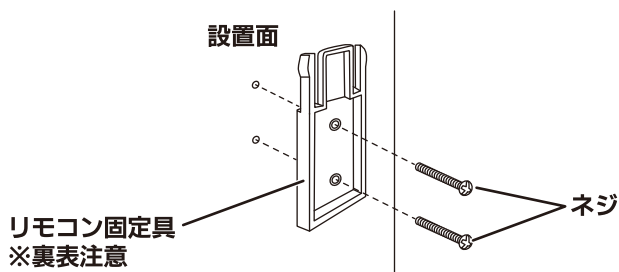
- ・リモコン配線は、電線等と一緒に寄り合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- ・リモコンは、ノイズの発生源から離して据え付けてください。
- ・電源ユニットにノイズを導入されている場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

- 4Pコネクタを本体のリモコン接続用コネクタに接続します。  
※リモコン用延長コードを接続して、機外引き出し寸法を延長することができます。

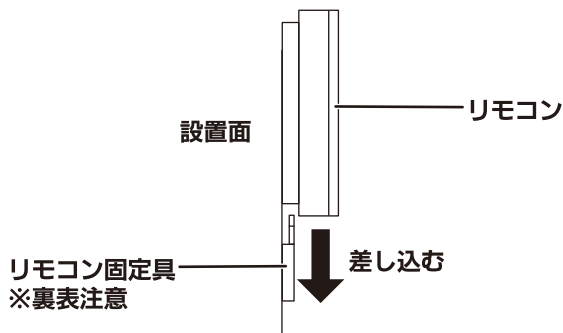


## 【リモコンの設置方法】

- 凹側が表にくるように、付属のネジを使ってリモコン固定具を固定してください。  
※リモコン固定具を逆に取り付けると、リモコンは固定できません。

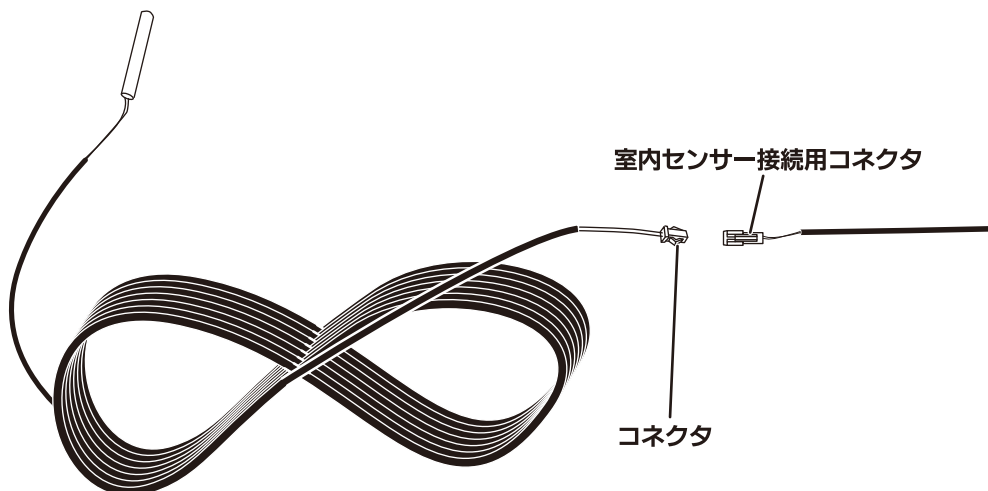


- リモコン固定具にリモコンを上から差し込んで固定してください。  
※コードを挟まないよう注意してください。



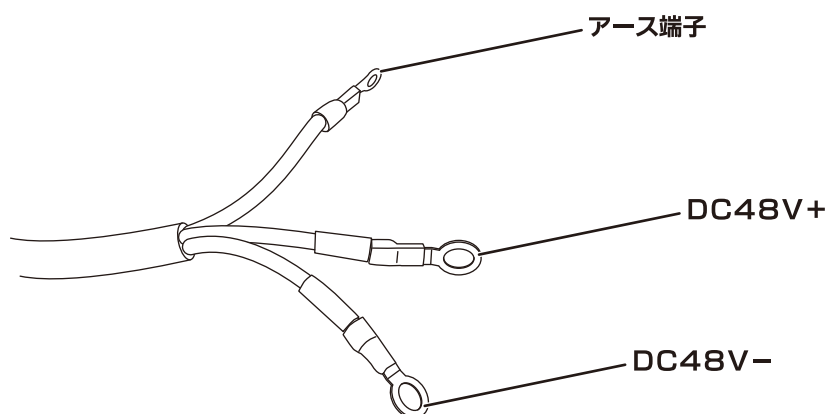
## 【室内温度センサーの接続方法】

- コネクタを本体の室内温度センサー接続用コネクタに接続します。



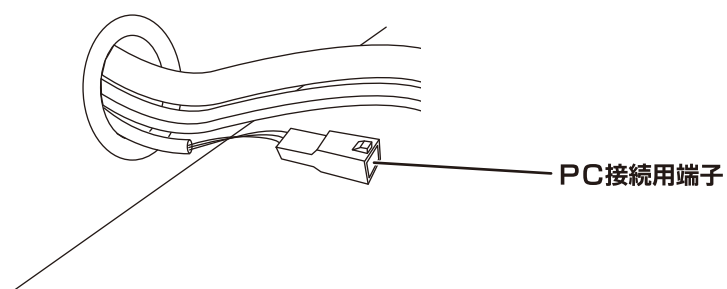
## 【電源の接続方法】

- DC電源に本体のDC接続端子を接続します。  
※+と-を間違えて接続しないように注意してください。  
※アースは必ず接続してください。



## 【PCの接続方法】

- PCに本体のPC接続用端子を接続します。



## 【試運転について】

- 試運転は、本体設置時、夏季シーズン開始時（推奨）に実施してください。
- 本体設置時はNo.1～4、夏季シーズン開始時はNo.3～5を実施してください。

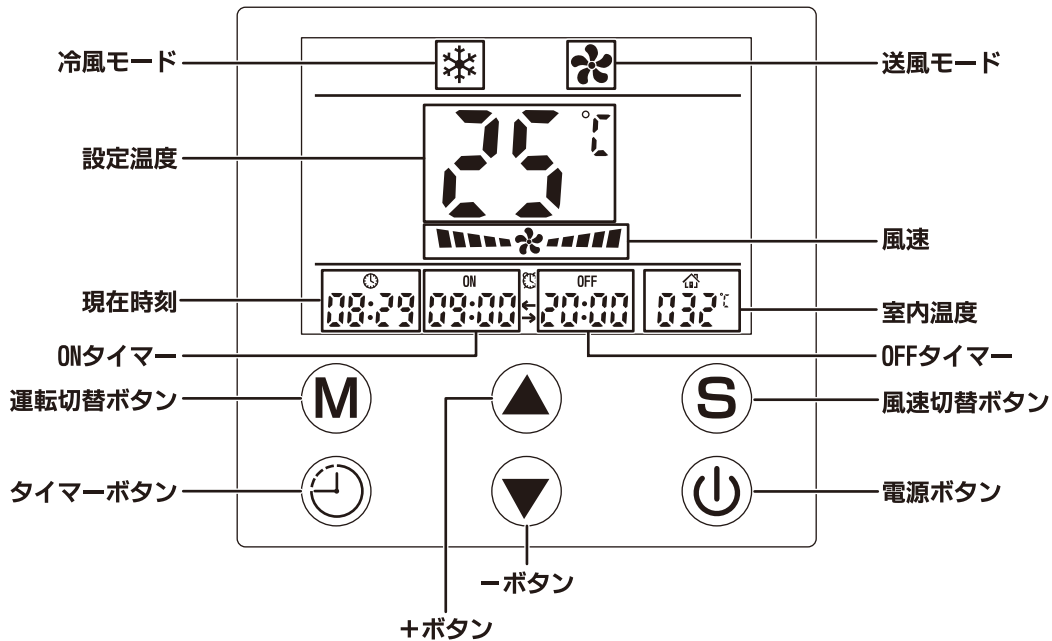
No.	項目	点検内容
1	据付状態確認	①機種並びに設置場所が配置図と一致していることを確認する。 機種・製造番号の記録を取ってください。 ②本体が水平に据え付けられていることを確認してください。 ③接続ダクトのつぶれや空気の洩れ、保温の不備による結露等、運転上支障のないことを確認してください。 ④別手部品が、正規に取り付けられていることを確認してください。 ⑤本体の保守点検作業が支障なく実施できることを確認してください。 ・フィルター交換
2	風量確認	○風量を確認してください。（規定値 風量「強」運転時、5.4m <sup>3</sup> /min ± 10%）
3	発停確認	○リモコンにより発停を確認してください。
4	運転音確認	○運転音、振動に以上のないことを感応で確認してください。
5	運転状況確認 (リモコン)	○本体を20分程度運転させた後の安定した状態で、冷房運転をしていることを確認してください。

### ●吸込・吹出温度差目安

吸込・吹出温度差目安	約12℃以上
------------	--------

# 【リモコン操作方法】

## 1 各部名称



## 2 運転方法

- ①電源ボタンを押します。  
※初回始動や、しばらく停止していた後の始動は、コンプレッサーが始動するまで約30秒かかります。
- ②運転切替ボタンを押して「冷風モード」か「送風モード」を選びます。
- ③+ボタン/-ボタンを押して好みの温度にします。(設定温度範囲：20°C～30°C)
- ④風速切替ボタンをおして好みの風速にします。風速は全部で2段階あります。
- ⑤停止する場合は、もう一度電源ボタンを押してください。  
※リモコンでON/OFFを繰り返したり、モードの切り替えを行った場合、過負荷保護のためスイッチを切ったりモードを切り替えてから約3分間はコンプレッサーが始動せず保護待機状態となります。電源で再始動する場合は、3分以上経ってから運転を行ってください。

## 3 現在時刻の設定方法

- ①運転を停止している状態で運転切替ボタンを長押し(5秒)すると、「現在時刻」の「時間」が点滅して表示されますので、点滅中に+ボタン/-ボタンを押して任意の時間に設定してください。
- ②「時間」が点滅しているときに、運転切替ボタンを押すと、「分」が点滅して表示されますので、点滅中に+ボタン/-ボタンを押して、任意の時間に設定してください。
- ③点滅表示のまましばらく放置するか、運転切替ボタンを押すと、設定が完了します。

## 4 タイマーの設定方法

- ①タイマーボタンを押すと、「ONタイマー」が点滅して表示されますので、点滅中に+ボタン/-ボタンを押して任意の時間に設定してください。1分単位で設定ができます。長押しすると早送り、早戻しができます。
- ②「ONタイマー」が点滅しているときに、タイマーボタンを押すと、「OFFタイマー」が点滅して表示されますので、任意の時間に設定してください。1分単位で設定ができます。長押しすると早送り、早戻しができます。
- ③「OFFタイマー」が点滅しているときに、タイマーボタンを押すと、「ONタイマー」と「OFFタイマー」が同時に点滅して表示されます。このときに、タイマーボタンを押すと、タイマー設定を解除します。

## 5 設定温度到達後動作の設定法

- AモードとBモードの切り替えは、送風モードを長押し(5秒)してください。  
Aモード…設定温度に達したら弱風運転に切り替わる。その後、設定温度以上の吸込温度を検知した場合、運転を停止する。  
Bモード…設定温度に達したら弱風運転に切り替わる。その後、設定温度以上の吸込温度を検知しても運転し続ける。  
※Bモード設定時は液晶の風速部分が点滅し、風速調整が無効となります。切り替え前のAモード時に設定した風速で運転します。

# 【メンテナンス】

## 1 フィルターのお手入れのしかた

### ⚠ 注意

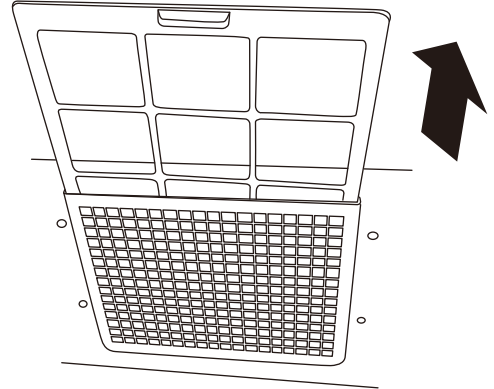
- ・保全周期は、ご使用状態・運転条件により大幅に異なることがあります。下記は1日9時間、年112日を基準として使用した場合の目安時間です。
- ・使用済のフィルターは産業廃棄物となりますので、適切な処理をしてください。
- ・フィルターが破損した場合は、随時交換をしてください。

①フィルター上のつまみを持ち、フィルターを取り出します。  
※フィルターは変形しますので、無理に引き抜かないでください。

②フィルターは水槽内でやさしく押し洗い（推奨）か、電気掃除機でホコリやゴミを吸い取ってください。  
※ブラシ等で強く擦らないでください。破損の原因になります。  
※洗浄後は自然乾燥させてから元通りに取り付けてください。

フィルターのお手入れの周期

洗浄周期	1回/3カ月（目安）
保全周期	約3年

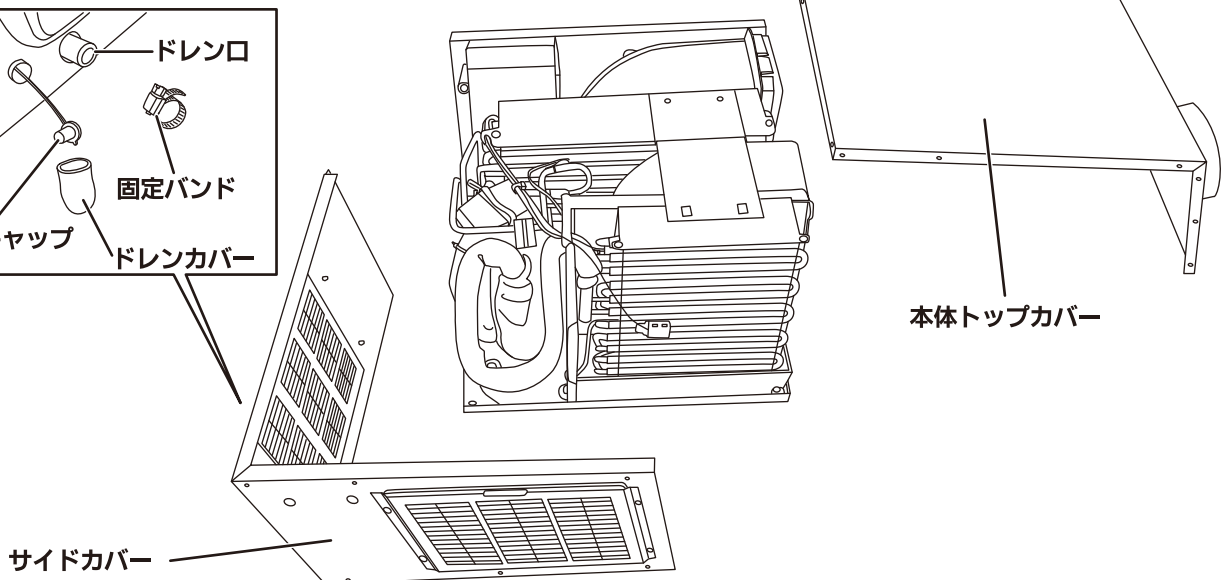
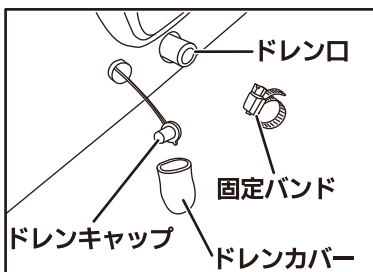


## 2 ドレン皿のお手入れのしかた

### ⚠ 注意

- ・薬品は使用しないでください。ドレン皿が割れる危険性があります。
- ・拭き掃除時に、無理に力を加えないでください。ドレン皿は樹脂製のため、割れる危険性があります。
- ・ドレン皿の清掃頻度は建物立地条件により異なりますが、1回/年程度を目安に行ってください。

①各部のネジを外し、本体トップカバーとサイドカバーを外します。  
※サイドカバーを外す前に固定バンド、ドレンカバー、ドレンキャップを外してください。



②ドレン皿の汚れはウエス等で拭き取ってください。  
※汚れがひどい場合は洗浄が必要となります。サービスセンターにご相談ください。

## 【故障の原因と対策】

故障の種類	原因	対策
運転しない	電源が繋がっていない。	電源を接続してください。
	電源供給回路のスイッチ・ブレーカーが切れている。	電源供給回路のスイッチ・ブレーカーを入れてください。
ファンは運転するが冷えない	リモコンの運転モードが「送風」になっている。	リモコンの運転モードを「冷風」に切り替えてください。
	設定温度が高い。	設定温度を下げてください。
	フィルター・冷風吹出口・排熱口が障害物等でふさがれている。	障害物を取り除いてください。
	フィルターが汚れている。	フィルターの掃除をしてください。
冷房能力が弱まった	フィルターが汚れている。	フィルターの掃除をしてください。
	ダクトが外れている、またはつぶれている。	ダクトは正しく施工してください。
エラーコードが頻発する	使用温度範囲外(19℃以下46℃以上)で使用している。	使用温度範囲内(20～45℃)でご使用ください。
	フィルターが汚れている。	フィルターの掃除をしてください。
	熱交換器が汚れている。	サポートセンターへご連絡ください。
	ダクトが外れている、またはつぶれている。	ダクトは正しく施工してください。
水が漏れる	本体が傾いて設置されている。	本体は水平に設置してください。
	ドレン皿にゴミや異物が溜まっている。	ドレン皿の掃除をしてください。
結露が発生する	ダクトが外れている、またはつぶれている。	ダクトは正しく施工してください。
	フィルターが汚れている。	フィルターの掃除をしてください。
	ドレン皿にゴミや異物が溜まっている。	ドレン皿の掃除をしてください。
	周囲の温度が19℃以下になっている。	20℃以上でご使用ください。

## 【廃棄方法】

○本製品は、フロンガスが使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品として扱われます。

○製品を廃棄するときは、下記にご注意ください。

この製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。  
 廃棄する場合は、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。  
 廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

## 【エラーコード】

エラーコード	具体的な故障内容
E1	室内温度センサー故障
E2	蒸発器銅管温度センサー故障
E3	環境温度センサー故障
E4	冷媒吐出側銅管用センサー故障
E5	ガス漏れ保護
E6	駆動モジュール用基板通信故障
E7	排熱モーター故障
E8	冷風モーター故障
E9	水位センサー故障
EC	リモコン通信故障
P1	駆動モジュールシステム過電圧／電圧不足
P2	コンプレッサー過負荷／過電流
P3	水車モーター過負荷／過電流
P4	冷媒吐出側銅管過熱警告
P5	蒸発器銅管凍結防止警告
P8	満水警告

# 株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

**お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101**

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。

2022.07